

経営計画の取組状況と課題

資料 3

1. 数値実績、内容と課題

目 標	行動計画	成 果 指 標 (毎年度又はH27年度目標)				H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	取組の内容	取組の結果（4年間の状況）
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績			
I 顧客本位の経営											
①サービスの安定供給	危機管理体制の強化	危機管理訓練の回数（回）	継	7	8	8	8	7	・発電所事故想定訓練 ・地震想定訓練 ・水道事故想定訓練（受水団体合同、県単独） ・オイルフェンス設置訓練	・訓練と検証を継続して行うことにより、事故時等の対応について習熟を図った。 ・広域災害を想定した受水団体との合同訓練など、訓練内容の見直しも行った。	
		技術のレベルアップ及び継承	研修回数（回）	継	6	6	6	9			6
	参加職員数（人）	継	130	152	133	140	158				
III 環境や地域への貢献											
②地域社会への貢献	地域活動への職員の参加	地域活動への職員の参加数（人）	継	200	200	195	207	240	・河川清掃 ・工業団地清掃 ・植栽事業 ・忌部水源清掃 ・志津見ガム祭り（施設見学対応） ・交通安全街頭活動	・様々な地域活動へ、目標を上回る職員が参加している。	
IV 信頼される公営企業経営											
③県民理解の促進	県民理解促進のための情報開示	ホームページアクセス数（件）	継	15,000	10,535	10,141	11,363	16,078	・ホームページで様々な情報を提供、細やかに更新 ・各地の小学校や公民館等へ情報提供 ・出前講座 小中学校他 ・施設見学 再生可能エネルギー見学ツアー、施設見学	・ホームページのアクセス数が増加しており、再生可能エネルギー見学ツアーや施設見学などを通して、企業局が行う事業への関心が高まっている。 ・再生可能エネルギー見学ツアーを始めたことや、積極的な情報提供などにより、目標を大きく上回った。	
		出前講座・施設見学数（人）	継	1,400	1,271	1,495	1,361	1,917			
④人材育成	経営意識の高い職員の育成	研修回数（回）	継	8	11	12	8	10	・決算説明会、会計事務研修、所内研修会 ・決算説明会、会計事務研修、所内研修会、技術研修会他	・職員個々の経営意識の向上に向け、行動計画に沿った取組を行っている。 （経営意識向上についての評価は難しい）	
		参加職員数（人）	継	200	259	457	241	311			

【課題】 ・大きな課題はない

目 標	行動計画	成 果 指 標 (毎年度又はH27年度目標)				H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	取組の内容	取組の結果（4年間の状況）
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績			
III 環境や地域への貢献											
⑤地球環境への貢献	クリーンエネルギーの供給	CO ₂ 削減量（トン）	継	102,000	120,201	92,530	117,093	100,919	・水力発電における水の有効利用 ・故障停止時間の縮減	・水力は、降水量が平年を下回ったH24年度を除いて、目標を達成。 ・風力は、設備稼働率の改善（故障停止時間の縮減）が必要。	
I 顧客本位の経営											
⑥電力の安定供給	設備稼働率の向上	年間故障停止時間（h）	水 力	継	220	686	891	326	603	・職員による保守点検・整備を継続して実施 ・計画的に改良・修繕工事を実施	・定期的な保守点検・整備により故障停止時間の縮減に努めているが、近年は機器の老朽化に起因する故障が増加している。 H26 油圧制御機器（三成他）、電動制御機器故障（八戸川第一）
II 健全経営の確保											
⑦発電量の増加	水の有効利用による発電量の増加	水の有効利用率（%）	水 力	継	105.0	102.8	102.0	103.0	109.1	・気象情報やダム水位を考慮した発電所の運転	・水の有効利用が指標に反映されない場合もあり、H26年度以外は目標を下回っているが、常に水の有効利用を意識した運転を行っている。
III 環境や地域への貢献											
⑧地域社会への貢献	森作り活動への貢献	植栽面積（㎡）	H27	2,500	3,060	8,560	12,860	17,690	・源流保全事業を実施	・平成23年度以降、NPO法人との連携により目標を上回る植栽が行えている。	
I 顧客本位の経営											
⑨電力の安定供給	設備稼働率の向上	年間故障停止時間（h）	大峯山	継	1,700	4,755	6,895	11,021	3,831	・故障、雷被害対策 予備品ストック、強風時の停止、地元業者育成、高専共同研究（大峯山） ・風の弱い時期に点検実施（高野山は、H26年度から風の弱い日） （新規取組） ・発雷時の停止（大峯山） ・取外し部品を整備し予備品化 ・メンテナンス体制の見直し（H26） 保守点検精度の向上による故障の低減と、故障復旧の迅速化を図るため、近郊に事業所を置く専門会社へ委託先を変更（大峯山） 機器異常の早期発見と、故障復旧の迅速化を図るため、委託業者を現地常駐化（高野山）	・予備品のストックやメンテナンス体制の見直しにより、過去と同様な故障については復旧時間の短縮が図られた。 ・高野山風力発電所は、長期間の停止を要する故障が発生し、稼働率が低迷している。
			高野山	継	6,800	6,111	6,261	11,687	11,695		
		設備稼働率（%）	大峯山	継	92.0	80.0	70.0	56.5	77.9		
			高野山	継	90.0	90.0	88.3	80.9	80.9		
II 健全経営の確保											
⑩発電量の増加	設備利用率（風力）	設備利用率（%）	大峯山	継	28.0	26.2	19.8	13.8	21.0	・故障停止時間の縮減対策を実施（上記内容）	・設備稼働率の状況と同じ。
			高野山	継	20.0	18.3	16.9	17.0	15.1		
⑪コスト削減	コスト削減	コスト額（百万円） （H21年度比5%削減）	風力発電	H27	110.2	168.1	227.0	315.7	228.5	・故障・雷被害対策（故障発生を抑え、修繕費用の低減を図る）を実施 （新規取組） ・メンテナンス体制を変更し（上記内容）、予知保全などトータルコストの低減につながる取組を実施	・想定以上の故障発生により修繕費が増加し、目標は達成出来ていない。 ・メンテナンス体制の変更により、平成26年度は一定の効果が見られるものの、様々な変動要素があり短期的な評価は難しいため、今後数年間の検証が必要。

【課題】 ・水力発電施設（昭和28年運転開始の三成発電所～昭和50年代までに運転した発電所）の老朽化（事故・故障発生リスクの高まり）対策

・風力発電所の故障停止時間縮減による設備稼働率、設備利用率の改善

・太陽光発電施設の安全で安定した運転管理

	目 標	行動計画	成 果 指 標 (毎年度又はH 2 7 年度目標)				H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	取組の内容	取組の結果（4年間の状況）
							実績	実績	実績	実績		
工業用水事業 飯梨川 江の川	I 顧客本位の経営											
	⑫工業用水の安定供給	給水制限日数ゼロ	事故・故障による年間給水制限日数	飯梨川	継	0	1	2	0	0	・職員による保守点検・整備を継続して実施 ・計画的に改良・修繕工事を実施	・H23, 24年度は漏水修繕工事による給水制限を行ったが、その後は、給水制限に繋がる事故や故障は発生していない。
				江の川	継	0	0	0	0	0		
	II 健全経営の確保											
⑬給水量の増加	新規顧客の開拓	売水率 (%)	飯梨川	H27	60.0	59.0	59.0	59.1	59.1	・商工団体や地元市へのPR活動を実施	・給水量の増加につながっていない。	
⑭コスト削減	コスト削減	コスト額(百万円)(H21年度比5%削減)	飯梨川	H27	80.7	76.7	80.0	76.5	59.1	・効率的なポンプ運転による動力費の削減など、経常経費の縮減	・コストの縮減が図られている。	
江の川	II 健全経営の確保											
	⑮給水量の増加	新規顧客の開拓	売水率 (%)	江の川	H27	50.0	13.3	26.7	26.0	52.0	・関係部局、地元市と連携した情報収集や、企業訪問を実施	・企業進出や既存企業の増量により売水率が伸びている。

【課題】 ・施設（昭和44年～飯梨川、平成8年～江の川）の老朽化（事故・故障発生リスクの高まり）対策
・新規需要の開拓

	目 標	行動計画	成 果 指 標 (毎年度又はH 2 7 年度目標)				H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	取組の内容	取組の結果（4年間の状況）
							実績	実績	実績	実績		
水道事業 水道共通	I 顧客本位の経営											
	⑯安全・安心な水道水の供給	安全・安心な水道水の供給	浄水池濁度0.1以下未達成日数	飯梨川	継	0	3	0	0	0	・職員による施設管理や運転調整を継続して実施 緩速ろ過池の管理、薬品注入量の調整 ・計画的に改良・修繕工事を実施	・洪水による濁度上昇により、目標を達成できない（水質基準は満足している）年もあったが、概ね目標とした水質を維持している。
				斐伊川	継	0	0	0	0	0		
				江の川	継	0	0	0	0	0		
			浄水池色度2以下未達成日数	飯梨川	継	0	4	0	1	0		
				斐伊川	継	0	0	0	0	0		
				江の川	継	0	0	0	0	0		
			末端残塩0.1～0.5未達成日数	飯梨川	継	0	0	0	0	0		
				斐伊川	継	0	0	0	6	0		
				江の川	継	0	0	0	0	0		
⑰水道水の安定供給	給水制限日数ゼロ	事故・故障による年間給水制限日数	飯梨川	継	0	0	0	0	0	・職員による保守点検・整備を継続して実施 ・計画的に改良・修繕工事を実施	・適切な施設管理により、給水制限に繋がる事故や故障は発生していない。	
			斐伊川	継	0	0	0	0	0			
			江の川	継	0	0	0	0	0			
飯梨川	II 健全経営の確保											
⑱コスト削減	コスト削減	コスト額(百万円)(H21年度比5%削減)	飯梨川	H27	240.3	210.7	208.0	214.1	183.1	・効率的なポンプ運転による動力費の削減など、経常経費の縮減	・コストの縮減が図られている。	

【課題】 ・施設（昭和44年～飯梨川、平成60年～江の川）の老朽化（事故・故障発生リスクの高まり）対策

	目 標	行動計画	成 果 指 標 (毎年度又はH 2 7 年度目標)				H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	取組の内容	取組の結果（4年間の状況）
							実績	実績	実績	実績		
宅地造成事業	II 健全経営の確保											
	⑲分譲促進	分譲促進	分譲率 (%)	江 島	H27	95.0	91.5	92.5	92.8	92.8	・関係部局、地元市と連携した情報収集や、企業訪問を実施	・目標には達していないものの、新規分譲や既進出企業による追加分譲があった。
				江 津	H27	70.0	63.5	63.5	63.9	80.4		

【課題】 ・完売に向けた企業誘致の推進

2. 各事業を取り巻く状況の変化

- ・電力システム改革
- ・再生可能エネルギーの導入促進
- ・人口減少社会
- ・施設の老朽化（事故・故障発生リスクの高まり）（再掲）